

### ちゃんと貸し出しできたよ

#### 子ども一日司書体験



本に親しみをもってもらうと7月30日から8月1日までの3日間、小学生を対象にした一日司書体験が中央図書館で行われました。町内全7小学校から33人が参加したこの企画。8月1日には、三好丘小と緑丘小の9人が、本の貸し出しや返却の受け付けなどの仕事を体験しました。体験後、三好丘小5年の石垣美帆さんは「本を読むのが大好きなので参加しました。少し緊張しましたが、ちゃんと貸し出しができました」と喜びの表情を浮かべていました。

### まずは「単独」でまちづくり

#### 豊田加茂8市町村合併研究会



豊田加茂8市町村合併研究会の最終回が8月5日、豊田市役所で開催されました。三好町では、研究会を前に6月に実施した合併の賛否を問うアンケートの調査結果を踏まえ、町議会や区長会と今後のまちづくりについて意見を調整。久野知英町長は、研究会でその経緯を説明し「アンケートのご意見を尊重し、まずは単独で町民の皆さまと一緒に、第5次総合計画に掲げた、ゆとりと活気あるふれあいのまちづくりにまい進する」と発表しました。

### 汚い水と分かって残念

#### 水生生物調査



川に親しみと関心をもってもらうと7月28日、西一色地内の境川左岸で水生生物調査が行われました。参加した36人の小学生は、役場環境課職員らの説明を受けた後、早速川に入り調査を開始。小魚やヒルなどを捕まえました。その後、捕まえた生物を調べ、川の汚れを判定。境川は「汚い」という結果になりました。参加した児童の一人は「ヒルがいっぱいいて、汚い水と分かったので残念です。もっと川がきれいになればいいのに」と調査を振り返っていました。

### 今まで以上にリサイクルに協力

#### リサイクルステーション三好オープン



町内で2カ所目となるリサイクルステーション三好が8月4日、グリーンステーション三好西側にオープンしました。ごみの減量化とリサイクルに対する意識を高め、もたらうと設置されたこの施設。今からは、新たにプラスチック製容器包装も回収します。オープンすぐにステーションを訪れた上ケ池の主婦、永見好子さんは「何でもリサイクルしなければならぬ時代です。近所にできたので、今まで以上にリサイクルに張り合えます」と話していました。

### 100年に一度の開花

#### アオノリュウゼツランが開花



一世紀に一度だけ花を咲かせるため、英語ではセンチュリー・プラントといわれるアオノリュウゼツラン。黒笹の加納政義さん宅では、7月末に無数の花を咲かせ始めました。花茎の高さは7mほどで、花の色は黄色。これは、加納さんの父・登さん（故人）が、15年ほど前に渥美町の実家から株分けしてもらった移植したものです。加納さんの母・ときわさんは「花が大好きだったお父さんが植えた花なんです。今ごろになって咲くなんて」と驚いた様子でした。

### 将棋って楽しいよ

#### 夏休み小中学校将棋大会



もつと将棋に親んでもらおうと7月27日、文化協会の将棋部会が主催する夏休み小中学校将棋大会が中央公民館で開催されました。16人が参加し、3つのクラスに分かれたリーグ戦で競われたこの大会。小学生の一人は「普段は、一緒に将棋をする友達が少ないので、今日はいろいろな人と対戦できてうれしいです」と笑顔で話していました。また部会員の一人は「昔は遊びといえは将棋だった。この機会に将棋が広まってほしい」と将棋の普及を願っていました。